

ところざわ 市議会だより

平成 25 年 (2013 年) 7 月 30 日 / 年 4 回発行
発行 / 所沢市議会 編集 / 広聴広報委員会
〒 359-8501 埼玉県所沢市並木一丁目 1 番地の 1



第 167 号

市議会ツイッターを始めました


TOKOROZAWA
所沢市議会
@tokoroshigikai
所沢市議会公式 Twitter です。所沢市議会からのお知らせやホームページの更新情報などを発信します。返信やリツイート、フォローは行いませんのでご了承ください。
埼玉県所沢市 · city.tokorozawa.saitama.jp/shigikai/index...
66 ツイート 0 フォロー 58 フォロワー 



所沢市議会では、議会広報のさらなる充実という観点で、平成 25 年度から市議会公式ツイッターを始めました。定例会の日程や会議の進ちょく状況、そのほかの行事について、随時情報発信していますので、ぜひご覧ください。

※市議会ツイッターは、市議会ホームページから接続できるほか、携帯端末などから右側にある QR コードを読み込むことでも閲覧できます。



おもな内容

◆議会の新役員構成を決定しました	2
◆第 2 回 (6 月) 定例会 おもな議案の概要	3~5
◆議案に賛成・反対します	6
◆本会議において賛否が分かれた審議結果、市議会ココ 3 か月 ほか	7
◆市政に対する一般質問	8~12
◆議会報告会を開催しました	13
◆議員の紹介	14~15
◆可決された意見書・決議	16

平成 25 年 第 2 回定例会 (6 月 4 日 ~ 6 月 25 日)

質問・答弁は要旨を掲載しています。なお、会議録は作成後、市立図書館、市政情報センター (市役所 1 階) ほかで閲覧できます。

 本紙は古紙再生紙を使用しています。

●市議会ホームページアドレス <http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/> → 「市議会」をクリック

平成 25 年第 2 回 (6 月) 定例会

議会の新役員構成を決定しました

議長就任のあいさつ

市民の皆さまにおかれましては、平素より所沢市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

このたび、平成 25 年第 2 回定例会におきまして第 58 代議長に就任させていただきました。

近年、全国的に議会改革の気運が高まっている一方で議会不要論がまだまだ根強く残っております。こうした世論の背景には、議会や議員の活動の様子が見えにくいということがあるのではないかと考えております。

言うまでもなく、私たち議員の役割は、市民の皆さまの声を市政に反映させ、市民の安心・安全な暮らしを実現させることにあります。そのためには、議員が活発に議論し、議会が積極的に政策提案していくことが所沢市の発展（地域の推進）につながっていくものと考えております。

所沢市議会といたしましては、これまでもさまざまな取り組みを進めてまいりましたが、私といたしましては、市民の皆さまの負託に応えられる議会となるよう、更なる議会改革の充実に向け、議会の可視化を含め、次の 3 点について重点的に取り組んでまいりたいと考えております。

1 点目は、市民に開かれた議会を目指し、更なる情報公開を進めていくことです。

2 点目は、市民の皆さまからの貴重なご意見や議会での議論を市政に反映するための仕組み（政策形成サイクル）の構築です。

3 点目は、予算審議の充実です。第 1 回定例会は、所沢市の行政運営に必要な 1 年間の予算を決定する大切な議会です。このため、予算の審議については、その方法等を含め、より充実していく必要があります。

もとより微力ではございますが、岡田静佳副議長をはじめ議員各位のご理解、ご支援をいただきながら、市民の皆さまにとってよりよい議会となるよう全力を尽くして取り組んでまいります。市民の皆さまには、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさつとさせていただきます。



第 58 代議長 村上 浩

(公明党・3 期)



第 59 代副議長 岡田 静佳

(所沢フォーラム“おおぞら”・3 期)

平成 25 年第 2 回 (6 月) 定例会は、6 月 4 日から 6 月 25 日までの 22 日間の会期で開会しました。

本会議初日、議長選挙が行われ、投票の結果、村上浩議員（公明党・3 期）が当選し、第 58 代議長に就任しました。

続いて行われた副議長選挙では、岡田静佳議員（所沢フォーラム“おおぞら”・3 期）が当選し、第 59 代副議長に就任しました。



今回の定例会では、正副議長選挙のほか、常任委員会委員、議会運営委員会委員、広聴広報委員会委員の選任などが行われました。（詳細は 14・15 ページ参照）

また、監査委員 2 人の退職に伴い、後任委員の選任の同意を求める議案が市長から提出され、浜野好明議員（所沢フォーラム“おおぞら”・4 期）、桑島健也議員（至誠クラブ・3 期）の選任に同意しました。

さらに、農業委員会委員 2 人の辞任に伴い、荒川広議員（日本共産党・8 期）、石本亮三議員（民主ネットリベラルの会・2 期）を委員として推薦しました。

一般会計補正予算 など議案19件を

可決しました



市長からは、専決処分の承認3件（補正予算1件、条例関係2件）、予算1件、所沢市子ども・子育て会議条例制定を含む条例関係5件、追加議案6件など計19件の議案が提出され、すべて可決しました。

議員からは、「西武鉄道運行路線の維持及び埼玉西武ライオンズの存続を求める決議」および「埼玉県立大学への医学部新設を求める意見書」についての議案が提出され、いずれも可決しました。

おもな議案の概要

市長提出議案

総務常任委員会 付託議案

◎専決処分の承認（所沢市税条例の一部を改正する条例）

地方税法の一部改正に伴い、本条例を施行させる必要が生じたため、専決処分により所沢市税条例の一部改正を行ったものです。

問 特例措置が設けられていた、特定中山間保全整備事業および農用地総合整備事業が市にはないにもかかわらず、なぜ専決処分を行ったのか。

答 市に該当事例はないものの、地方税法の一部改正に伴い、本条例も改正しておく必要があると考えたものである。

◎平成25年度所沢市一般会計補正予算（第3号）

■所沢市ホームページシステムネットワーク切替事業

22万4千円

市ホームページはジェイコムさいたま所沢局に設置してあるサーバを利用して公開しており、データの更新にあたってはジェイコムさいたま所沢局と広報課間の専用回線で行っています。同回線については、同社から市役所までの間をジェイコム側で管理し、市役所内については市側で管理していますが、回線に不具合

が生じた場合、データ更新が不能になる危険性があるため、同回線を廃止しインターネット回線を利用したデータ更新とするものです。

◎災害派遣手当等の額に関する条例の一部改正

平成25年4月、新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、新型インフルエンザ等の対策に際し、国または他の地方公共団体から派遣された職員が居住地等を離れて所沢市に滞在する場合に手当を支給するため、同条例への記載を追加するものです。

教育福祉常任委員会 付託議案

◎平成25年度所沢市一般会計補正予算（第3号）

■生活保護システム改修事業

94万5千円

国では、社会保障・税一体改革が進められており、平成25年8月から生活保護基準の見直しが実施されることになりました。これに伴い、生活扶助の基準額の算出方法が変更となるため、生活保護システムを改修するものです。

問 生活扶助の基準額の算出方法をどのように変更するのか。

答 食費等の個人的費用や光熱水費等の世帯に係る共通費用の基準額の変更等がある。

◎所沢市子ども・子育て会議条例制定

子ども・子育て支援法の制定に基づき、幼児期の学校教育・保育や地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための新しい制度が平成27年度から開始されることに伴い、事業計画等の検討を行っていくための会議体の設置について、条例で定めるものです。

問 所沢市子ども・子育て会議条例第2条にある、「法第77条第1項の事務」の具体的な内容を伺いたい。

答 一点目が認定こども園、幼稚園、保育園の利用定員についての検討。二点目が、家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業の利用定員についての検討。三、四点目が、子ども・子育て支援事業の策定および変更についての検討。四点目が、子ども・子育て支援に関する施策の実施状況についての調査、審議などを行うものである。

◎所沢市立老人憩の家設置及び管理条例の一部改正

所沢市民間委託化推進計画に基づき、市内に8施設ある老人憩の家のうち4施設（さくら荘、峰寿荘、やなせ荘、ところ荘）については、平成18年度から指定管理者制度により運営を行ってまいります。平成26年度から他の4施設（とめの里、みかじま荘、こてさし荘、とみおか荘）についても指定管理者制度へ移行す

るため、同条例を一部改正するものです。今回、4つの施設が指定管理者制度に移行することで、どのくらいの経費削減につながるのか。

問 施設の規模が異なるため一概に比較できないが、平成24年度決算見込額では、直営4施設が約7,900万円、指定管理4施設が約5,700万円、指定管理は直営の7割程度の経費である。このことから、平成26年度以降の指定管理者制度移行においても経費削減が見込まれると考えている。

答 平成24年度決算見込額では、直営4施設が約7,900万円、指定管理4施設が約5,700万円、指定管理は直営の7割程度の経費である。このことから、平成26年度以降の指定管理者制度移行においても経費削減が見込まれると考えている。



▲ところ荘（宮本町）

◎専決処分の承認（平成25年度所沢市一般会計補正予算（第2号））

風しんワクチン等予防接種助成事業

1,726万7千円

首都圏において、風しんの流行が継続していることから、ワクチンの接種費用の一部を助成することにより接種を促進し、先天性風しん症候群の発生予防と妊婦の感染防止の強化を図るものです。

問 助成対象者：接種時に市内に住所を有している者のうち、妊娠を予定、希望している女性で、接種時の年齢が満19歳から満49歳までの者および妊娠している女性の配偶者。*ただし、感染経路者およびワクチン予防接種経験者を除く。

答 接種対象期間：平成25年4月1日から平成25年10月31日

助成額：1人3,000円（1回限り）

問 対象ワクチン：風しん単独ワクチン、麻しん風しん混合ワクチン（MR）

答 風しん単独ワクチン、麻しん風しん混合ワクチンの接種費用はいくら

で、これらの一部助成額を3,000円とした根拠は何か。また、助成期間を来年3月までに設定している自治体がある中、市は今年10月末までの設定だが、状況に応じた延長について議論はしたのか。

答 市内の医療機関では、風しん単独ワクチンが4,800円から8,300円程度、麻しん風しん混合ワクチンが7,600円から1万2,600円程度と聞いている。助成額については、風しん単独ワクチンの在庫が少ないことから麻しん風しん混合ワクチンの接種を基本と考え、この金額の3分の1から4分の1程度とした。期間については、今後の感染状況を見極め判断していく考えである。

6月定例会の動き

6月4日

本会議 常任委員長報告（特定事件）提案理由の説明・議案説明
議員提出議案の上程・採決

6月6日

本会議 議案質疑

6月7日

委員会 四常任委員会並行審査

6月11・12・13・14日・17日

本会議 市政に対する一般質問

6月24日

本会議 常任委員長報告

6月25日

本会議 討論・採決
追加議案の上程・質疑・討論・採決
議員提出議案の上程・採決



市民環境常任委員会 付託議案

◎専決処分の承認(所沢市国民健康保険 税条例の一部改正)

地方税法の一部改正に伴い、本条例を改正し、平成25年4月1日から施行させる必要が生じたため、専決処分により所沢市国民健康保険条例の一部改正を行ったものです。

◎平成25年度所沢市一般会計補正予算 (第3号)

■消費生活啓発事業

398万6千円

平成24年度に施行された、消費者教育の推進に関する法律において、学校における消費者教育の推進が示されたことから若年層を対象に消費者教育を行い、消費者への啓発を行うものです。

□実施概要：携帯やパソコンの利用で、詐欺や不当要求などのトラブルに巻き込まれないための適切な対処方法を示したブックレットの購入、配布を行います。

ブックレットは全小・中学生に配布されるところだが、配布するだけでは、あまりにもつたいない。学校教育現場においてどのように活用するのか。

答

配布予定のブックレットは、小・中学生が巻き込まれやすいインターネット上のトラブルへの対応が分かりやすく解説してあるものであることから、普段の授業も含めた教育活動の中で児童・生徒がインターネットを使用する際の注意点やルール、マナーをしつかり身につけ、消費生活の課題を学んでいけるよう努めていきたいと考えている。

■狭山ヶ丘第1自転車駐車場耐震補強事業
397万9千円
当事業の耐震補強性能判定による補強工事の一部変更および公共工事設計労務単価の上昇に伴い、当初の予算額に不足が生じたため補正するものです。

問

第三者機関による耐震補強性能判定の回答が平成25年3月にあったとのことだが、そうであるならば、なぜその判定結果を待たずに当初予算に提案したのか。

答

平成23年度に狭山ヶ丘第1自転車駐車場の耐震診断を実施し、補強の必要ありとの判定を受けたところに東日本大震災が発生したことが重なったことで、自転車駐車場利用者の安全を第一に早期の工事が必要と考え、平成25年度に実施する工程を組んだものである。

■旧所沢浄化センター跡地利用プロポーザル事業
2,450万円

旧所沢浄化センターの跡地について、準工業地域という優位性を活かし、産業系を中心とする土地利用を図るため、土地利用計画を公募し、プロポーザル方式により売却先を決定するものです。

※プロポーザル方式：技術的に高度または個性が重視される業務を発注するにあたり、プロポーザル(企画提案書)の

提出を受け、当該業務にもっとも適した設計者を選定する方式。

問

旧所沢浄化センター跡地における公共施設建設の要望書は周辺地域から出ていないとのことだが、個々の要望はあると聞いている。そのような方々に市の方針を説明し理解を得る必要があると考えるが、地域住民への説明会を開催する予定はあるのか。

答

地域住民にとって旧所沢浄化センター跡地利用は大変関心の高い事柄だと思われる。地元自治会長には事業の概略をお伝えしているが、今後、地域住民に対しても説明していきたいと考えている。

◎所沢市情報公開条例等の一部改正

国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行により、国有林野事業が一般会計化されることとなり、国営企業形態が廃止されることに伴い、市の条例で国の経営する企業に関する規定を削除するため、関係する3つの条例を一部改正するものです。

建設水道常任委員会 付託議案

◎所沢市道路占用料徴収条例の一部改正

◎市道路線の認定 2路線

委員会付託を行わず

全体審議とした議案 (追加議案6議案)

◎平成25年度所沢市一般会計補正予算 (第4号)

◎所沢市市長等の給料の特例に関する条例制定

国からの地方公務員の給与削減要請を踏まえ、地方交付税への影響を鑑み、市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者および常勤監査委員の給与月額について平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間、減額措置を行うものです。

◎教育委員会委員の任命に同意

・寺本 彰氏(福島県南相馬市/新任)

◎人権擁護委員の推薦に同意

- ・谷口 悟氏(中富南/再任)
- ・須藤 とく子氏(山口/再任)
- ・清水 三和子氏(中新井/新任)

議員提出議案

議員からは「西武鉄道運行路線の維持及び埼玉西武ライオンズの存続を求める決議」および「埼玉県立大学への医学部新設を求める意見書」についての議案が提出され、いずれも可決しました。

(意見書等の全文は最終ページ参照)

討 論

議案に **賛成・反対** します

■平成 25 年度所沢市一般会計補正予算（第 3 号）

●反対●

- ・旧所沢浄化センター跡地利用プロポーザル事業は、内部調整会議における具体的な説明がなく、短期間の検討で議案として提出されている。また、解体・除去費用の積算がこれからであること、市の準工業地域の活用方針が明確でないこと、市民への説明が自治会長レベルで不十分であることなどから、まずは、慎重に検討したいと考える。
- ・生活保護のシステム改修は、国の税と社会保障の一体改革の方針により、生活保護費の給付削減が実施されることに伴うものであり、全ての給付水準が今後3年間にわたって、平均7.3%、最大では9.3%も引き下げられる。生活困窮者が今後も増加していく中、地方自治の立場からも憲法で定められた基本的人権、生存権をも否定するものであり、認めることはできない。

●賛成●

- ・本事業は、市が多額の残存施設除却費用を支払うことなく、貴重な準工業地域を活用し産業を誘致するものである。これは、固定資産税をはじめとする税収の確保と地域の活性化を実現させるためのものであり、そのための市有地売却という迅速な英断は高く評価されるべきである。こういった動きが関係部署にさらに広がっていくことを期待する。
- ・生活保護システム改修事業は国の法改正に伴うものであり、基準額の算出方法そのものが変更となるため、そのシステム改修を国の全額費用負担で行うものである。所管委員会でも指摘されていたとおり、改修後の人件費や管理については財政的効果や事務処理の正確性の向上が得られるとのことから、反対するデメリットが見当たらない。

■所沢市立老人憩の家設置及び管理条例の一部を改正する条例制定

●反対●

- ・老人憩の家は、老人福祉センターとの連携のもとで運営されてきた。この条例で4施設が指定管理になれば、今までのような連携はできない。高齢者の生活が把握でき、高齢者が安心して利用できる福祉施設の運営は直営が望ましい。

●賛成●

- ・すでに指定管理者制度を導入した別の4施設においては、運営経費の削減が図られ、利用者の増加もみられていることから、市民サービスの向上と経費の削減を図るといふ所期の目的は達成されていると判断している。

■平成 25 年度所沢市一般会計補正予算（第 4 号）

■所沢市市長等の給料の特例に関する条例制定

●反対●

- ・市長は答弁で、国からの要請は理屈に合わず、強引である、給与の削減は人事院勧告で行ってきている、地方分権からもなじまない、アベノミクスは賃金上昇による活性化をうたっているとの見解を示しており、これに同感である。加えて、市は平成13年度から平成24年度までで、職員310人、人件費75億円を削減、また、平成24年度には他市に先駆けて給与削減も行っているとのことである。このことから、理に合わない国の要請に対してはノーと言い、頑張っていくことが市に求められていると強く考えることから関連する2議案に反対する。

●反対●

- ・地方六団体は、自治体が自主的に決定すべき地方公務員給与を国が強制して削減するのは地方自治の根幹に関わる、また、地方交付税を国の政策誘導の手段に用いるのは地方の固有財源、自由な一般財源の性格を否定するものとしている。市長も、地方分権の立場から今までの理屈に合っていないことや、強引であることを示しており、まさにその態度を貫き通すことが求められている。安易な特別職の給与削減は、今後、職員や民間の賃下げにも連動し、地域経済にも大きな影響を与えることになる。

※本議案については賛成討論は行われませんでした。

一般質問

6月定例会では、26人が一般質問を行いました。質問は各議員の多くの質問項目中、1項目だけが掲載されています。質問項目は、市議会ホームページでご覧いただけます。

環境・まちづくり

安心・安全のまちづくり

セーフコミュニティ導入に向けて

質問者 公明党 福原浩昭

議員 東京都豊島区のセーフコミュニティ活動の取り組みは、行政内の安心・安全に関する所管を横断的に連携させ、継続的にPDCAサイクルに基づく予防対策がとられている。セーフコミュニティをキーワードとした活動は、市とまちづくりセンター、自治会、地域住民とが有機的・効果的に連携・協働するきっかけになる。安心・安全のまちづくりにおける政策の全庁的な基本方針への位置づけ、第5次所沢市総合計画・後期基本計画への指標とすることへの見解は。

※セーフコミュニティ：WHO（世界保健機関）協働センターが推進する安心・安全なまちづくりの国際認証制度
市長 セーフコミュニティは、安心・安全なまちづくりを進めていくうえで参考

になる部分が多い取り組みである。第5次所沢市総合計画・後期基本計画の策定作業の中で、セーフコミュニティの考え方についても必要に応じて参考にしていきたい。

「グリーン経済」持続可能な

豊かなまちをつくるには

質問者 育 越阪部 征衛

議員 自然・緑・エコ・環境共生で「いい街つくり」のためにには環境負荷を軽減しながら経済成長を達成するエコなまちづくりが必要であると考えている。現在、市ではマチごとエコタウン所沢構想を策定中だが、その状況はどのようになっているのか。

環境クリーン部長 昨年度、マチごとエコタウン所沢構想策定に係る基礎調査を実施し、エネルギーの保存量・利用可能量調査をはじめ、市民の意識はどうであるのか、先進自治体の事例などを調査した。今年度は、基礎調査をもとに、知識経験者、事業者、団体の方々が構成するマチごとエコタウン所沢構想策定検討委員会を設置し、構想の策定に向け具体的な検討をしていただいている。

所沢市における

夏の節電対策・仕事の効率は

質問者 共生 脇 晴代

議員 市の節電対策については、市民、事業者の確実な節電対策を進めるとともに、市施設における節電、省エネルギーを率先的に実施することが示されている。公共施設共通、エアコン28℃以上の設定について、法的な基準では28℃以下なのに、なぜ28℃以上としたのか。また、庁舎内で温度差があるようだが、仕事の効率に影響があるのではないかと。

財務部長 目標としている温度は、同じ28℃を指している。市としては、大震災発生後の平成23年夏期から各施設における節電・省エネ対策を率先して実施することとし、空調の温度調節についても23年と同様にしている。また、庁舎内の温度差については、構造上の課題ではあるが、できる限りの工夫をして対応していきたいと考えている。

狭山丘陵の緑の保全

ボランティア活動に支援を

質問者 所沢フォーラム「おぞら」 入沢 豊

議員 緑のトラスト地等の保全活動を行うボランティア活動を支援するために、今後、トイレや水道施設設置などを検討できないか。

環境クリーン部長 市民協働による「みどりの保全や創出」を推進するため今年3月から開始した「みどりのパートナー制度」で活動の区域となっている緑地を

対象とした「みどりの保全や創出」の活動に協力いただける場合には、できるだけ活動支援を行っていきたくないと考えている。トイレや水道施設などは、多くの方々に参加をいただき活動を継続していくために、必要な施設と認識している。活動対象地なども十分考慮のうえ、埼玉県とも協議を行い検討していきたいと考えている。



▲緑のトラスト保全2号地（上山口）

道路の緑化

街路樹の剪定の基準は

質問者 所沢フォーラム「おぞら」 松本 明信

議員 市の玄関所沢駅西口に新設された道路、所沢村山線にみどりの回廊をつくり、所沢市みどりの基本計画のモデルとなるような街路樹にしていきたい。現在、特に市街地の道路について、街路樹の緑化にはほど遠く、過度の剪定と思

われる状況が見受けられる。剪定の基準などはあるのか。

建設部長 街路樹を中心とした道路の緑化は、景観の形成やヒートアイランド現象の緩和など大きな役割を果たすことから、適正な管理に努めている。剪定の基準などについては、埼玉県が作成したマニュアルなどを参考に、樹木の種類に応じた樹形の設定や剪定方法を選択している。また、平成24年度は試験的に、歩行者などに支障のない路線を選んで、樹形が比較的残るような剪定方法に変え、現在は状況を観察しているところである。

みどり行政のさらなる発展のために

質問者 至誠クラブ 秋田 孝

議員 所沢市みどりの基本計画が優良事例に選ばれたことは高く評価したい。マチごとエコタウン所沢構想を進めていくためにも、みどりは欠かせないものと思っているが、第5次所沢市総合計画を頂点に、ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市ひと・まち・みどりの景観条例、これらの条例を実現するための第2期所沢市環境基本計画、所沢市みどりの基本計画など諸計画におけるみどりを生かしたまちづくりをどのように進めていくのか、今後のみどり行政の方向性についての考えを伺いたい。

市長 マチごとエコタウン所沢構想のアンケート調査の結果でも、市民はエコタウンの要素として、みどりの保全や創出が必要とのことだった。山のみどり、里

のみどり、そしてまちのみどり、みどりの中にまちがある、そんな所沢になればいい。優良事例に選ばれた所沢のみどりの基本計画のさらなる実効性を担保するための手立ても併せて検討していきたい。みどりの中にまちがある、そんな所沢を将来像に思い描き、みどりで選ばれるまちを目指していきたい。



松井小学校図書館 開かれた図書館に

質問者 至誠クラブ 浅野 美恵子

議員 松井小学校地域開放型学校図書館は、地域に開放されずに、松井小学校の児童のみが授業で利用できる図書館になっている。市民で利用できるのは、保護者同伴の児童のみで、保護者のみでも利用できない。なぜ、「地域の方の生涯学習の場として」という当初の目的が達成されていないのか。

教育総務部長 学校図書館である松井小学校図書館は、これまで地域に開放するための課題を解決すべく、継続して検討を重ねてきた。平成17年の開館から8年が経過したが、この間、全国で幼児や児童が被害者となる痛ましい事件が幾度となく発生したため、検討を行う中での安全面に関する意見がまとまらず、地域開放への進捗が遅れが生じた。現在の状況

は、松井小学校長、学校教育課および図書館本館による協議を行っており、今後、まずは土曜日、日曜日の学校開放時に一般の方も利用できるような具体的な検討を進めている。



▲松井小学校 (上安松)

ファミリーサポートセンターの活用で子育て支援を

質問者 公明党 亀山 恭子

議員 安心して子育てできるようにファミリーサポートセンター事業がある。支援を受けたい方(利用会員)に育児支援をしたい方(援助会員)を紹介して、主に利用会員の家で子どもを預かるものがあるが、本当に利用会員が求めている声をしっかり聞いて、その声に応えられる援助会員を増やすことが大事だと考える。援助会員数の目標に対する具体的な対策をどのように計画しているのか。

こども未来部長 利用者の多種多様な需要に応えるためには、幅広い年齢層の援

助会員が必要だと考える。これまでも、さまざまな機会を捉えて事業についての周知を図ってきたが、今後も、利用会員だった方に援助会員になっていただくよう案内をしたり、援助会員になるための講習案内の掲示を、幅広い年齢層が利用するコンビニエンスストアやスーパーなどにお願ひするなどして、会員の拡充に努めていきたいと考える。

公共施設にみどりを増やす 校庭の芝生化を

質問者 日本共産党 小林 澄子

議員 今年3月策定された公共施設緑化ガイドラインの中に、校庭緑化として、園庭や校庭の芝生化の効果についても記されている。市内小・中学校の芝生化について、検討内容および公共施設緑化ガイドラインの実効性等について伺いたい。
教育総務部長 校庭の芝生化は、砂塵の飛散防止、転倒時の怪我の軽減などのメリットがある反面、維持管理に多くの手間と費用が必要であるなどの問題点もある。また、学校校舎の老朽化に伴うトイレ改修などの建物改修事業や、砂塵対策として学校要望の高いスプリンクラー設置工事などを検討しており、これらの事業に多くの予算が必要となる状況であるため、芝生化は当面難しい。緑化推進については、市の重要な施策の一つと考えているため、公共施設緑化ガイドラインを参考にしながら、みどりのカーテンや学校ファームなどさまざまな手法を検討していきたい。

学校などにおける

紫外線対策を

質問者

至誠クラブ 荻野 泰男

議員 全校に統一的な基準として、学校における日焼け止め(サンスクリーン剤)の使用制限を原則なくすべきと考えるが、見解を伺いたい。

学校教育部長

紫外線防御の具体策として、日焼け止め剤の使用が有効だという認識はあるが、児童・生徒個々の健康状態により、対応が異なってくることもあるため、使用についての統一した基準を示すことは難しいと考えている。日頃より学校に対しては、児童・生徒個々の状況に応じた適切な対応をするよう、校長会などで指示はしている。

安心・安全な保育の確保

保育園の建て替えを

質問者

所沢フォーラム「おおぞら」 青木 利幸

議員 市内には公立保育園が20園あり、一部の園についてはかなり老朽化が進んできている。建て替えや改修をして、引き続き活用していく考えはあるのか。

子ども未来部長 今回の所沢市保育園等

運営審議会の答申では、今後の公立保育園については、民間保育園の安定的運営の確保に資するため、市内全体、あるいは市内各地区の保育の需要バランスを調整する役割を負うことが求められた。また、こうした役割を負うことを通じて、公立保育園での子どもの受け入れ人数が減少すると、これまで実施が困難だった

大規模修繕等の施設整備が比較的容易となり、関係予算の高額化の抑制、安心・安全な保育の確保といった効果ももたらされるのが期待できるとも示されている。待機児童が発生している現状では、保育需要を担う必要がある公立保育園については、引き続き、安全に利用ができるよう施設改修を進めていく必要があると考える。



▲富岡保育園 (下富)

待機児童の定義は

質問者

日本共産党 平井 明美

議員 東京都や横浜市では待機児童問題が社会的な問題になっており、市も未就学児童を持つ保護者は増加の一方ということである。市の待機児童の定義について伺いたい。

子ども未来部長 待機児童の考え方に

ついては、国および県から示される保育所入所待機児童の定義、保育所入所待機児

童の定義に係る留意事項に基づき集計をしている。定義内容は、待機児童から除かれるケースが定められており、主なケースとしては、求職中だが就職活動が乏しい場合、家庭保育室を利用している場合、一時預かり・特定保育事業を利用している場合、入園はしているが転園を希望している場合、4月を過ぎて産休・育休から明ける方の入所希望の場合、1園のみ希望するなど保護者の私的な理由により待機している場合などが該当する。



定期巡回・随時対応型訪問介護看護の

普及に向けた支援を

質問者

公明党 植竹 成年

議員 市としては、第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの提供体制の確保に努めるとある。介護事業者の参入が伸びない現状について、どのような認識を持ち、今後、導入に向けた支援をどのように考えているのか。

福祉部長 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業者の参入については、24時間体制ということから、看護師の配慮等

十分なサービスを提供できる実施体制の確保が難しいことも一因と思われる。今後、導入に向けた支援策としては、事業所を整備するに当たったての建設費、整備

費等、国や県の補助制度などを活用できるように支援していきたくと考えている。

総合相談窓口・地域協議会の

早期設置を

質問者

民主ネットリベラルの会 島田 一隆

議員 市の現状を見る限り、子ども・若者の問題は喫緊の課題であり、(仮称)総合福祉センター開設まで待つ余裕はないと認識している。また、庁内の横の連携、NPOや他の機関も交えた子ども・若者支援地域協議会と包括的な窓口である総合相談窓口の早期設置を求めるが、今後の方向性を伺いたい。

副市長

子どもや若者の問題は、教育・就労・家庭などさまざまであり、その年齢幅も広範囲になり、相談内容は多岐にわたることから、事象ごとに対応している。しかし、相談者の利便性を考慮し、窓口は一つの方が分かりやすいという考えから、(仮称)総合福祉センター内に子ども・若者を含めた相談窓口を設置することになっているので、子ども・若者地域協議会の設置、また担当組織の体制づくりについても、今後研究していきたい。

子宮頸がん予防ワクチン

リスクの周知を

質問者

民主ネットリベラルの会 末吉美帆子

議員 子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年4月から予防接種法における定期接種となった。ワクチン接種における副反応の報告事例もあることから、現状が把握できる丁寧な調査と情報収集を進め

てほしい。また、接種が強制でないこと、自己責任で判断できること、副反応のリスクなどをわかりやすく周知していただきたいが、いかがか。

健康推進部長 ワクチンの接種にあたっては、対象者および保護者に対して、ワクチンの効果と副反応、健康被害救済制度の概要、接種する際の注意点などが記載されている説明書を同封している。また、予防接種のリスクと効果、目的も含めて十分に理解いただいたうえで、接種に同意、不同意の意思表示をいただいている。

障がい者就労の支援政策は

質問者 公明党 西沢 一郎

議員 障がい者雇用を充実させていくという意味において、行政の支援は大きな要素になる。市において、障がい者を雇用する一般企業や就労継続支援 A 型事業所に対し、どのような支援を行ってきたのか。

※就労継続支援 A 型事業所：一般企業での就労が困難な方に、必要な知識および能力向上のための訓練を雇用契約により行う事業所

福祉部長 一般企業に対しては、所沢市社会福祉協議会に委託しているところぞわ就労支援センターにおいて、障がい者雇用に関する情報の提供や、障がい者が企業で長く就労できるように、事業所の巡回訪問など職場定着に向けた支援を実施している。また、就労継続支援 A 型事業

所については、市が開設にあたってのアドバイスや施設運営についての相談に乗るなどソフト面での支援を行っている。

買い物支援事業

福祉的視点にたった対策を

質問者 日本共産党 荒川 広

議員 買い物弱者対策といった場合、商業振興というだけではない。高齢者の中には買い物をしたくてもできない人もいる。そのような視点から、担当部門とも連携する必要があるのではないかと。担当部門と商業部門と福祉部門で、ぜひ実態を把握していただきたい。実態把握と他部局との連携について伺いたい。

産業経済部長 商業観光課において、商店街元気回復応援モデル事業として、商店街補助にも関わることであるが、買い物弱者対策の取り組みができないか検討しているところである。また、高齢者支援課においては、高齢者生活支援パンフレット作成事業を通じ、買い物困難な高齢者の方々の支援に対する情報収集を行っているところである。

高齢者単身世帯の増加

介護や見守りのニーズの把握を

質問者 所沢フォーラム おおぞら 近藤 哲男

議員 一人暮らし高齢者が増えていく中で、現在、市が行っている施策は。また、介護や見守りのニーズを行政が把握することが重要と考えるが、見解を伺いたい。

福祉部長 全国的に急速な高齢化を迎える中、市においても10年前と比べると、

高齢化率は約1・6倍に、一人暮らし高齢者世帯は2倍以上に増加している。このような状況から、一人暮らしの高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるように、市では、地域包括支援センターによる相談支援、みまもり相談員による家庭訪問のほか、緊急通報システムの設置や配食サービスの利用、トコロみまもりネットなど、さまざまな事業を実施している。今後予定している高齢者福祉・介護実態調査において、高齢者や介護者のニーズを把握し、さまざまな施策に役立てたいと考えている。



所沢市の未来都市像

新しい都市宣言を

質問者 所沢フォーラム おおぞら 石井 弘

議員 市には、交通安全都市宣言と所沢市平和都市宣言の2つの都市宣言があるが、新たな都市宣言のあり方として、今何の宣言が必要なのかということをきちんと提案して、目標年次を決めて計画を進める都市宣言をしてはどうか。

副市長 新しい都市宣言については現時点では考えてはいない。しかし、今後、市の抱えている大きな課題や社会情勢を踏まえて、それに対する市の意思や主張、方針を表現することにより、その解決あるいは対応に向けての効果が期待される

ような場合については、十分検討したい。



▲交通安全宣言都市の表示板 (並木)

コミュニティビジネス 地域の人材育成を

質問者 民主ネットリベラルの会 赤川 洋二

議員 コミュニティビジネスは、地域社会の課題をビジネスの手法を活用して解決する取り組みである。地域コミュニティの活性化において、地域にいる豊富な人材をどのように活用していくか、市民大学など生涯学習の場もあるが、市としては、どのような人材育成、人材活用の取り組みをしてきたのか。

市民部長 市における地域の人材育成の場としては、市民活動支援センター、まちづくりセンター、生涯学習推進センター等で行われている、ボランティアに関する講座や市民大学等のさまざまな講座がある。人材発掘の方策としては、講座を受講者などが、生涯学習推進センターのボランティア人材バンクに登録することにより、人材を発掘する機会を設けている。

選ばれる街とは

質問者 みんなの党 所沢 松崎智也

議員 第5次所沢市総合計画の中では、定住意識と所沢ブランドの認知度を指標として掲げているが、対内的な数値目標だけでなく、対外的な視点も取り入れる必要があるのではないか。後期基本計画で、例えば転入者数などの新しい指標を考えてみてはどうか。

経営企画部長 昨年度策定した「所沢ブランドの創造と地域経済の活性化・基本方針」の中でも「選ばれるまち」ということを掲げており、現状に即した新たな指標の必要性は感じている。後期基本計画については、現在、策定作業を行っており、新たな指標についても検討していく予定である。

市職員は公共交通機関を

利用するべきではないか

質問者 至誠クラブ 桑島健也

議員 サーベラスのTOB（株式公開買付）に伴う署名活動については、基本的には評価している。サーベラスの廃線提案から一連の動きが始まったと理解しているが、鉄道の利用を進めるためには、職員が率先して鉄道やバスを利用するのが筋だと考える。本庁舎通勤者は原則、車通勤禁止で、やむを得ない場合のみ許可する方法に変えるべきではないか。

総務部長 職員のマイカー通勤の自粛の取り組みは行っており、その実施状況に

よると、本庁舎での自動車等での通勤の対象職員の人数は、平成22年度は188人、平成23年度は157人、平成24年度は143人と減少してきている。これは、環境面への配慮や健康志向の意識の高まりなどによるものと思われるが、職員の通勤事情はさまざまな実情があるため、現在のところ、自動車通勤を原則禁止とすることは考えていない。

防災行政無線で

地域限定の放送ができないか

質問者 所沢フォーラム「おおぞら」 大館隆行

議員 防災行政無線の放送塔にマイクが付属しているが、例えばある地域で痴漢が発生した場合など、地域限定で放送することは可能か。可能ならどのような形でできるのか。

危機管理監 防災行政無線の放送の範囲は、所沢市防災行政無線局運用要綱で定められており、地域を限定して放送することも可能である。迷い老人や犯罪の発生したケースなどについては、警察からの放送依頼に基づき、防災行政無線の総括管理者である危機管理監が特に必要と認めた場合に放送しているが、これまで痴漢が発生したケースでの放送依頼はない。

フットパスで

みどりや自然を生かしたブランド化を

質問者 日本共産党 矢作 いづみ

議員 森や田園地帯、歴史的な景観、まち並みなど地域に昔からあるありのまま

の風景を楽しみながら歩くフットパスは、東京都町田市ほか各地で取り組まれている。フットパスの考え方は、健康づくりだけでなく、観光にも結びつくうえ、まち歩きということで、新たな発見にもつながる。所沢ブランドにつながるまちづくりの取り組みとして、フットパスの考え方を取り入れたイベントに取り組みむことについての見解は。

産業経済部長 平成22年に市制施行60周年記念行事として、北野公園から狭山丘陵をめぐるウォーキング大会が実施されている。今年度においては、秋に同様のウォーキングイベントを開催する予定である。ほかにもさまざまな目的を持ったウォーキングイベントなどが実施されており、所沢ブランドの一つである市の豊かなみどりを多くの方に知ってもらうために、積極的な情報発信に努めていきたい。

ミネネーミングライツで

財源確保を

質問者 民主ネットリベラルの会 石本亮三

議員 神奈川県横浜市栄区では暮らしの便利帳とタウンページをセットにすることで、横浜市立病院では領収書の裏側に宣伝を入れることで経費削減に取り組んでいる。このようなミネネーミングライツ事業について、市も他市の事例を積極的に見習っていくべきではないか。

経営企画部長 市では、図書館における雑誌のポーンサー制度や印刷物の広告掲載によって印刷製本費の全額または一部を

賄うことなど、各所管においてさまざまな取り組みをしている。また、パンフレットなどに企業名を掲載することで、企業から協賛をいただき運営費の一部を補填している事業もある。さらに、市政情報・広告モニター事業では、モニター設置事業者から行政財産使用料や設置納付金という形で財源確保を行っている。今後も厳しい財政状況が続くため、さまざまな取り組みをしていきたい。

メンタルヘルス対策

「メンター制度」の導入は

質問者 みんなの党 所沢 谷口雅典

議員 「メンター制度」は、若手・中堅職員の成長を促進させ、メンタルヘルス対策にも有効であると考えられる。指導員が責任感をさらに強く持ち、高いモチベーションで新人を指導・育成でき、指導員自身もより成長していけると考えるが、明確な制度として導入できないか。

総務部長 中堅職員が新規採用職員を指導する立場となり、人材育成を進めていく「メンター制度」については、指導をする側、受ける側、双方において一定の効果が見込める育成手段であることは認識している。しかし、明確な制度として導入するためには、各職場の体制や指導となる職員の負担など組織的なケアが必要になるものと考えられることから、各職場の実態をふまえ、制度として運用可能な制度設計ができるか研究していきたい。

議会報告会を 開催しました。

議会報告会は、議員が地域に向向いて議会活動の状況について市民の皆さんに直接、報告・説明するとともに、市民の皆さんと議員とが、議会活動や市政について自由に情報・意見交換をする場として、平成22年度から開催しています。

平成25年3月定例会についての議会報告会を、5月18日に新所沢まちづくりセンターホールで、5月24日に小手指公民館分館ホールで、それぞれ開催しました。2日間で、137人の方に参加いただきました。



▲新所沢まちづくりセンター

おもな質疑

問 パブリックコメントの大半は反対であったのにも関わらず、議員定数条例の一部改正に賛成した理由は。

答 パブリックコメントや公聴会で出された意見については、議員一同、真摯に受け止めました。議員一人ひとりの考えや協議の結果、答申に沿った条例制定になりました。

問 狭山ヶ丘中学校のエアコン問題の進捗よく状況は。

答 市民や議会の反対にも関わらず、エアコンは設置されていない状況です。

問 「マチごとエコタウン所沢構想策定事業」と「仮称」メガソーラー所沢設置事業」での議会の審議内容は。

答 「(仮称)メガソーラー所沢設置事業」は「マチごとエコタウン所沢構想」の中にあるさまざまな事業の一つであるという考えです。

問 「所沢市みどりの基本計画」では、公園におけるトイレや日よけ設置について考慮しているのか。

答 「所沢市みどりの基本計画」においては、詳細な計画は立てられていません。

問 報告会の時間延長といった措置をとってもらいたい。

答 議会報告会のあり方については、

所管委員会で検討していきます。

問 「第5次所沢市総合計画・後期基本計画」には、前期基本計画での反省や問題点はないのか。

答 「第5次所沢市総合計画・後期基本計画」は、過去の反省点という意味での議論は行っていないと認識しています。

問 「(仮称)第2一般廃棄物最終処分場整備事業」が、わずか数百万円の予算計上で区内処理の原則とうたっている理由は。

答 本事業の費用は処分場の候補地調査に係るものであり、これで全ての事業が完了するわけではありません。

問 市議会ツイッターは、毎日発信しているのか。

答 毎日ではなく、イベントが発生する度に随時、発信しています。

問 議員研修の費用は、政務活動費から支出しているのか。

答 個人や会派視察については政務活動費から支出しており、委員会視察については、別枠で計上しています。

問 議員にとつての一般質問の場とは。

答 議会の役割は、市政のチェックと市民の皆さまの多様な声を反映させることであり、その立場から質問しています。

問 議会が開会するまで予算を公表しない体制は変えてほしい。

答 貴重なご意見として承りました。



▲小手指公民館分館

おもな意見

・報告は堅苦しい説明ではなく、普通の言葉で説明してほしい。
・総体的に棒読みの報告で理解しがた

い。
・報告会の周知ポスターを駅構内や市内バスに掲載してみてもどうか。
・小・中学生を対象にした、こども議会の開催を望む。

・所沢駅前の再開発をするべき。(魅力がなさすぎる)
・予算の使い方は市民感覚を持って検討してほしい。

・活発な疑問や意見が出て、議会も捨てたものではない。
※質疑・意見については、紙面の都合上、一部を掲載しています。

議 員 の 紹 介

議席番号	会 派 氏名・当選回数 党 派 住 所 電 話	議席番号	会 派 氏名・当選回数 党 派 住 所 電 話	議席番号	会 派 氏名・当選回数 党 派 住 所 電 話
19	公明党 にしざわいちょう 西沢一郎 ② 公明党 三ヶ島 5-2058-10 04(2947)6991	25	至誠クラブ すぎ た だ ひ こ 杉田忠彦 ② 無所属 坂之下 245-1 04(2944)3537	31	所沢フォーラム“おおぞら” い し い ひろし 石井 弘 ② 自由民主党 狭山ヶ丘 1-3003-109 04(2948)8586
20	所沢フォーラム“おおぞら” まつもとあきのぶ 松本明信 ① 無所属 東所沢 5-15-2-703 04(2945)2675	26	育 おさか べ せ い え 越阪部征衛 ④ 自由民主党 大字牛沼 313-6 04(2995)1777	32	所沢フォーラム“おおぞら” はまのよしあき 浜野好明 ④ 自由民主党 北岩岡 40-7 04(2942)4917
21	所沢フォーラム“おおぞら” やすだ よしひろ 安田義広 ③ 無所属 上安松 634-1-202 04(2995)4446	27	公明党 むらかみ ひろし 村上 浩 ③ 公明党 上新井 1-28-11 04(2928)5264	33	所沢フォーラム“おおぞら” くぼ た し げ お 久保田茂男 ④ 無所属 山口 1212-27 04(2922)3913
22	所沢フォーラム“おおぞら” なか たけし 中 毅志 ③ 無所属 三ヶ島 5-1262-1 04(2938)5251	28	公明党 かめやまきょうこ 亀山恭子 ① 公明党 東所沢 3-33-12 04(2008)1907	34	至誠クラブ くわはたけんや 桑島健也 ③ 無所属 緑町 1-6 15-107 04(2921)8248
23	所沢フォーラム“おおぞら” おおだちたかゆき 大館隆行 ② 無所属 小手指元町 3-26-16 04(2949)7160	29	公明党 ふくはらひろあき 福原浩昭 ② 公明党 東狭山ヶ丘 6-2800-5 04(2922)6973	35	至誠クラブ なかむら とおる 中村 太 ③ 無所属 東所沢和田 1-18-2 04(2945)6313
24	至誠クラブ おぎの やす お 荻野泰男 ② 無所属 糞谷 1746-1 04(2949)6735	30	所沢フォーラム“おおぞら” おかだ し ず か 岡田静佳 ③ 無所属 小手指町 1-30-20 04(2921)7533	36	至誠クラブ あき た たかし 秋田 孝 ④ 無所属 旭町 12-15 04(2993)4622

◆ 議会の構成 / 委員会 ◆

◎=委員長

○=副委員長

議会運営委員会	広聴広報委員会
議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等、議長との諮問に関する事項を調査します。	議会の広聴広報及び議会図書室の運営について協議又は調整を行います。
◎杉田 忠彦 荒川 広 松崎 智也 植竹 成年 安田 義広 石井 弘 ○島田 一隆 城下 師子 石本 亮三 西沢 一郎 中 毅志 桑島 健也	◎末吉美帆子 脇 晴代 島田 一隆 浅野美恵子 福原 浩昭 村上 浩 (議長) 岡田 静佳 (副議長) ○中村 太 矢作いづみ 入沢 豊 西沢 一郎 石井 弘

議 員 の 紹 介

議席番号	会 派 氏名・当選回数 党 派 住 所 電 話		議席番号	会 派 氏名・当選回数 党 派 住 所 電 話		議席番号	会 派 氏名・当選回数 党 派 住 所 電 話	
1	共生 わき はるよ 脇 晴代 ④ 無 所 属 三ヶ島 1-119-5 04(2948)7387		7	日本共産党 しろしたのりこ 城下師子 ④ 日本共産党 中富南 4-28-2-208 04(2942)9456		13	所沢フォーラム“おおぞら” こんどうてつお 近藤哲男 ① 無 所 属 北所沢町 2242-18 04(2942)8817	
2	日本共産党 やさく 矢作いづみ ③ 日本共産党 中富南 2-14-12 04(2943)3633		8	日本共産党 こばやしすみこ 小林澄子 ③ 日本共産党 泉町 1819-3 04(2928)2798		14	民主ネットリベラルの会 いしもとりょうぞう 石本亮三 ② 民 主 党 下富 1209-16 04(2942)9688	
3	日本共産党 あらかわ ひろし 荒川 広 ⑧ 日本共産党 下安松 496-16 04(2944)6208		9	日本共産党 ひらい あけみ 平井明美 ⑦ 日本共産党 西狭山ヶ丘 1-3118-17 04(2948)6077		15	民主ネットリベラルの会 すえよし みほこ 末吉美帆子 ② 市民ネットワーク 小手指町 3-20 Q-211 04(2949)4317	
4	民主ネットリベラルの会 しまだ かずたか 島田一隆 ① 民 主 党 星の宮 1-8-11-105 04(2930)4502		10	みんなの党 所沢 たにくちまさのり 谷口雅典 ① みんなの党 若狭 1-2961-1-213 04(2941)5111		16	至誠クラブ あさのみ えこ 浅野美恵子 ③ 無 所 属 北秋津 876-3 H-204 04(2995)1463	
5	民主ネットリベラルの会 あかがわ ようじ 赤川洋二 ③ 民 主 党 若狭 3-2383-25 04(2947)3966		11	みんなの党 所沢 まつざきともや 松崎智也 ① みんなの党 北秋津 511-21 04(2008)1410		17	公明党 よしむらけんいち 吉村健一 ② 公 明 党 上安松 1279-5 04(2993)0028	
6	所沢フォーラム“おおぞら” いりさわ ゆたか 入沢 豊 ① 無 所 属 山口 5026-3-44-3-401 04(2968)3952		12	所沢フォーラム“おおぞら” あおき としゆき 青木利幸 ① 無 所 属 北岩岡 554-1 04(2942)1019		18	公明党 うえたけなりとし 植竹成年 ① 公 明 党 けやき台 2-6-1-203 04(2925)6736	

◆ 議会の構成 / 委員会 ◆

◎ = 委員長

○ = 副委員長

常 任 委 員 会

総務常任委員会	教育福祉常任委員会	市民環境常任委員会	建設水道常任委員会
市政全般の企画や調整、財務、市税、契約、防災等に関する ことを審査します。	小・中学校の教育、公民館、 図書館、福祉、保健、医療等 に関することを審査します。	環境対策、ごみ対策、リサイ クル、商業、農業、観光、交通、 国保年金等に関することを審 査します。	道路、都市計画、市営住宅、 再開発、区画整理、公園、上 下水道等に関することを審査 します。
◎大館 隆行 ○小林 澄子 赤川 洋二 谷口 雅典 浅野美恵子 越阪部征衛 村上 浩 岡田 静佳 石井 弘	◎西沢 一郎 ○近藤 哲男 矢作いづみ 城下 師子 末吉美帆子 中 毅志 亀山 恭子 浜野 好明 中村 太	◎荻野 泰男 ○入沢 豊 脇 晴代 島田 一隆 平井 明美 青木 利幸 吉村 健一 安田 義広 秋田 孝	◎福原 浩昭 ○松崎 智也 荒川 広 石本 亮三 植竹 成年 松本 明信 杉田 忠彦 久保田茂男 桑島 健也

可決された意見書・決議

意見書を行政機関等に提出し、議会としての意思を表明します。

西武鉄道運行路線の維持及び 埼玉西武ライオンズの存続を求める決議

株式会社西武ホールディングスの筆頭株主である米投資会社サーベラス キャピタル マネジメント、L.P.（以下「サーベラス」という。）が、株式公開買い付け（TOB）を実施するにあたり、西武鉄道株式会社の一部路線の廃止や埼玉西武ライオンズの売却などを求めているとの報道に対して、沿線住民をはじめライオンズをこよなく愛する多くのファンからは不安と反発の声が上がっている。

鉄道事業は、もとより公共性・公益性の高い事業であり、通勤・通学、買物等に欠くことのできない住民の足であると同時に、観光やビジネスなど産業経済活動にとっても大切な交通機関として、その役割は極めて高い。また、埼玉西武ライオンズは、本市に本拠地を置くプロスポーツチームの一つとして、市及び市民の誇りであるばかりでなく、多くの人々から愛され親しまれている。

このように、西武鉄道及び埼玉西武ライオンズは、本市のまちづくりに不可欠な存在であり、所沢市議会は、このたびの事態を深刻に受け止めている。

よって、株式会社西武ホールディングスが、サーベラスの提案に反対を表明したことに対し、地元市議会として支持するとともに、引き続き西武鉄道運行路線の維持及び埼玉西武ライオンズの存続に最善を尽くされるよう要請する。

また、サーベラスにおかれては、企業の社会貢献はもとより、鉄道やプロスポーツの持つ役割や地元住民の意思を十分に斟酌され対応をされるよう強く要請する。

（※6月10日に西武鉄道本社へ提出）

埼玉県立大学への 医学部新設を求める意見書

埼玉県は、人口10万人当たりの医師数が142.6人（平成22年12月）と全国最下位である。しかも、一般病床数の人口対比は全国で最も少なく、救急体制も極めて脆弱であるため、医師の勤務環境は大変厳しくなっている。

一方で、埼玉県は65歳以上の高齢者人口が146万人と全国で5番目に多い上に、高齢化のスピードも全国で最も速いことが指摘されている。今後、急速な高齢者人口の増大が見込まれる埼玉県においては、現在の医師不足の状況を大幅に改善しない限り、県民の救命救急医療は一層深刻なものになり、医師の勤務実態はさらに悪化するものと考えられる。

昨年10月には、本市を含む医療圏域においても新生児集中治療室（NICU）が休止されたが、県内においても、周産期医療の休止が続いている状況であり、医師不足の解消は、こうした周産期医療や小児救急医療を含めた地域医療体制の充実強化には不可欠な緊急の課題となっている。

埼玉県は国公立大学医学部がないという全国的にも稀有な県であり、地域で従事する医師を自区内において養成し確保することができておらず、このことが医師不足の大きな要因の一つになっていることから、埼玉県議会には「県立大学医学部設置推進埼玉県議会議員連盟」が発足しているところである。

こうしたなか、埼玉県は、本年3月に「埼玉県地域保健医療計画（第6次）」を策定され、県立大学医学部設置認可のための体制の確立と医学部設置に向けた計画の策定を推進されている。医師を自区内において養成・確保することは、本計画の実現を図る上からも、医師不足の解消に大きく寄与するものと考えられる。

よって、埼玉県においては、住民の命と健康を守る立場に立ち、医師不足の解消と救急医療体制整備を実現するため、早急に埼玉県立大学に医学部を設置するよう強く求めるものである。

提出先 埼玉県知事

連絡先
TEL 299819256
FAX 299819222

岡田静佳（副議長）
議会事務局調査担当

村上浩（議長）

石井弘

福原浩昭

西沢一郎

浅野美恵子

入沢豊

島田一隆

矢作いづみ

脇晴代

中村太

末吉美帆子

春から夏へと季節が移り、各委員会構成も新体制となりました。私たちが「広聴広報」という委員会の名に込められた「市民の声を聴く」を最重視し、体現していきたいと思えます。どうぞ皆さまのご意見をお寄せ下さい。定例会、閉会中の議会活動についてもできる限りお伝えできるよう頑張っております。

（末）



次の定例会は
9月4日からの
予定です。

